

<北海道の次期総合計画策定に係る意向調査>

- この意向調査は、北海道が実施するものです。
- 企業や団体、NPO法人の皆様が、北海道の将来についてどのように考えているかをお伺いし、今後、北海道が策定する「次期総合計画」（長期的な展望に立って道の政策の基本的な方向を総合的に示す計画）の参考とさせていただくことを目的として行うものです。
貴重な時間をお借りし、大変恐縮ではありますが、それぞれの質問についてお考えをお聞かせいただければ幸いです。
- 主として北海道内で活動されている企業や団体、NPO法人の皆様1,500社（団体）を任意に抽出いたしました。
なお、ご回答いただきました内容などの情報については、総合計画策定の目的以外に使用することはございません。

御記入にあたって

- 1 問1～問6につきましては、選択された番号をご回答欄にご記入ください。
問7につきましては、北海道の次期総合計画の策定に向けて、御意見・御希望などがございましたら御記入ください。
- 2 質問にお答えいただけましたら、大変お手数ですが、この調査票を同封の返信用封筒に入れて（切手不要）、平成27年2月6日（金）までに御返送ください。
- 3 調査票は、下記のホームページからダウンロード（Word形式）することができますので、必要な場合は御利用ください。
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ssa/ksk/chousahyou.doc>
- 4 本調査について御不明の点がございましたら、恐れ入りますが下記までお問い合わせ願います。
- 5 調査結果の公表につきましては、平成27年4月を目指として、北海道総合政策部政策局のホームページ上に掲載する予定です。

【お問い合わせ先】 北海道総合政策部政策局・計画班

<担当者：今井（いまい）、清水（しみず）>

札幌市中央区北3条西6丁目（本庁舎3階・南西側）

代表 011-231-4111 政策局計画班直通 011-204-5630

FAX 011-232-6313 E-mail: keikaku1@pref.hokkaido.lg.jp

調査票

北海道の次期総合計画策定に係る意向調査

貴社・貴団体 貴NPO法人名			本社・支社 の別	1 本社 2 支社	
ご担当者	ご職名	お名前			
所在地					
電話番号					
電子メール アドレス					
業種					
主な活動内容					
社員・所属人数 (パートタイマーを除く)	1 ~29人	2 30~50人	3 51~100人	4 101~300人	5 301人~

<調査結果について>

結果につきましては、平成27年4月を目指として道のホームページへ掲載予定です。

なお、ご回答をいただいた企業、団体、NPO法人の皆様でご希望される場合には、上記電子メールアドレスに調査結果を送付させていただきますので、ご希望される場合は、下記欄の「希望します」の文字に○印を付してください。

調査結果について、上記電子メールアドレスへの送付を希望します。
希望される場合は、右欄を○で囲んでください。

希望します

調査票

問1（将来の北海道像について）

2040年(平成52年)四半世紀後頃の北海道がどのような社会であってほしいとお考えですか。
次の中から3つまで選んでご回答欄に数字をご記入ください。

1 産業活動が活発で、経済の活力に満ちた社会 2 便利で快適な生活環境が整った社会 3 連帯感に満ち、思いやりのある社会 4 環境を重視した美しい自然に恵まれた社会 5 精神的にも時間的にもゆとりのある生活をおくれる社会 6 一人ひとりの個性や能力が生かされる社会 7 教育や文化の水準の高い社会 8 その他（具体的に：）	ご回答欄)
--	---------------------------------------

問2（経済・産業の活性化について）

北海道の持つ資源や潜在力を生かした経済・産業の活性化に向けて、今後、北海道が特に力を入れるべきことはどのようなことですか。次の中から3つまで選んでご回答欄に数字をご記入ください。

1 アジア諸国など海外との経済交流の振興 2 空港や港などの国際的な交通ネットワーク拠点や物流拠点の整備 3 食や観光など北海道の特性を生かした産業の振興 4 バイオテクノロジーやIT（情報関連）産業など先端産業の振興 5 产学官の連携 6 戦略的な企業誘致や投資環境の整備 7 農林水産業の振興 8 商店街や小売市場の振興 9 建設業の新分野への進出促進 10 産業の担い手となる人材育成 11 行政サービスの民間開放による事業機会の拡大 12 その他（具体的に：）	ご回答欄)
---	---------------------------------------

問3（安全・安心な暮らしの確保について）

安全・安心な暮らしを確保するために、今後、特に力を入れるべきことはどのようなことですか。
次の中から3つまで選んでご回答欄に数字をご記入ください。

1 火山、地震、津波、風水害、雪害など自然災害による被害の未然防止・軽減 2 住宅等の耐震改修の促進や緊急時の公共施設の諸機能の維持 3 老朽化した橋など公共土木施設の長寿命化と維持管理の充実 4 道民一人ひとりへの防災意識の浸透と自主防災組織の活動の促進 5 除排雪における関係機関の連携強化や冬の災害に強いまちづくりの促進 6 防犯意識の高揚や自主防犯活動の促進など犯罪のない地域社会の構築 7 飲酒運転の追放など交通安全思想の普及、徹底や交通安全教育の推進 8 その他（具体的に：）	ご回答欄)
---	---------------------------------------

調査票

問4 (人口問題への対応について)

あなたがお住まいの地域において、人口問題に対応するために必要な取組は何だと思いますか。
次の中から3つまで選んでご回答欄に数字をご記入ください。

	ご回答欄
1 特に取組は必要無い	
2 少子化に歯止めをかけること	
3 町内会やお祭りなどのコミュニティづくり	
4 地域産業の振興	
5 雇用の場づくり	
6 女性の活躍の場づくり	
7 高齢者の活躍の場づくり	
8 農林水産業の担い手の確保	
9 移住を希望する人達の受け入れ	
10 十分な医療や介護を受けられる環境づくり	
11 十分な教育や学習が可能な環境づくり	
12 買い物しやすい環境づくり	
13 コンパクトなまちづくり	
14 移動しやすい交通の整備	
15 その他（具体的に：）	

問5 (環境先進地づくりについて)

環境にやさしく、環境と共生していく地域社会を構築していくに当たって、今後、特に力を入れるべきことはどのようなことですか。次の中から3つまで選んでご回答欄に数字をご記入ください。

	ご回答欄
1 自然環境の保全に対する道民意識の高揚	
2 環境保全に関する知識や意識の豊かな人づくり	
3 省エネルギー・風力、太陽光、雪氷熱、バイオマスなど新エネルギー資源の利用	
4 豊かな森林、多様な動植物などの自然の保全・保護	
5 二酸化炭素等の排出削減による温暖化防止など、地球的規模の環境問題に対する貢献	
6 環境保全に配慮した企業活動の促進	
7 ごみ（廃棄物）の発生・排出の抑制やリサイクルなどの推進	
8 大気汚染、水質汚濁などの環境問題の解決	
9 車依存ではなく、徒歩、自転車や公共交通機関の利用促進	
10 その他（具体的に：）	

調査票

問6（多様な人材の育成・確保について）

個性豊かで活力ある北海道を担う多様な人材の育成・確保をするために、今後、特に力を入れるべきことはどのようなことですか。

次のの中から3つまで選んでご回答欄に数字をご記入ください。

	ご回答欄
1 就業者の高齢化や担い手不足が進行している一次産業の人材の育成・確保	
2 地域に必要な医療従事者の育成・確保	
3 高齢化の進行に対応した、福祉・介護を担う人材の育成・確保	
4 子どもたちの学力や体力を向上させる取組の推進	
5 産業社会のグローバル化など時代の変化に対応できる人づくりの推進	
6 女性、高齢者、障がいのある方々や若年者など多様な人材の活躍の場の確保	
7 首都圏等から多様な人材を呼び込む取組の推進	
8 その他（具体的に：）	

問7（北海道の次期総合計画へのご意見など）

次期総合計画の策定に向けて、ご意見・ご要望などがありましたらご記入ください。

（この部分は記入用の大きな箱です。）

《お忙しいところご協力をいただき、大変ありがとうございました。》